

関東運輸局「現場発！物流の魅力発見シンポジウム」  
パネルディスカッション第Ⅰ部：物流の魅力を女性目線から考える

## 物流業界における女性活躍推進

---

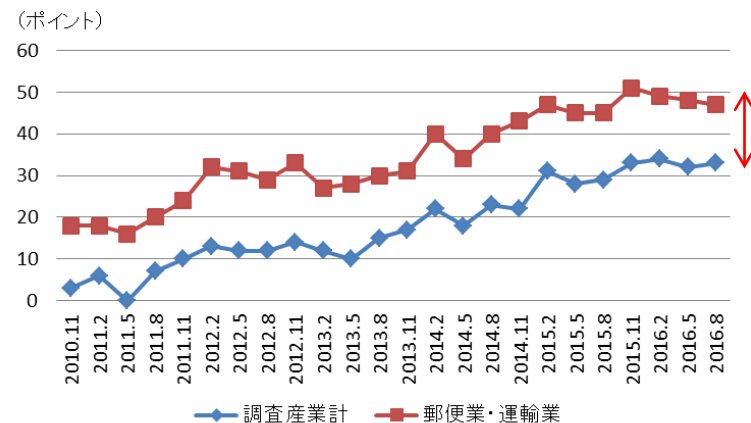
株式会社 日通総合研究所  
Research & Contents Unit 大原 みれい

2017年6月26日

# 物流業界における労働力の現状

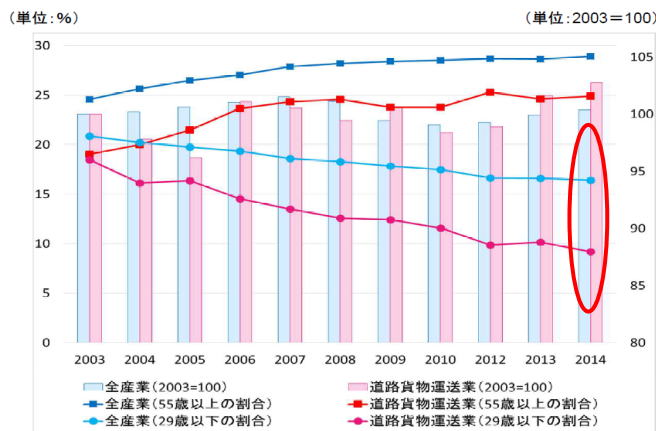
## 中高年男性に過度に依存した労働力構成

- 全産業平均を上回る労働力不足
- 労働力の高齢化
  - » 運輸業: 40歳以上の割合 約7割
  - » 道路貨物運送業(29歳以下)10%未満
- 偏った男女比率
  - » 運輸業全体で女性~~は20%以下~~
  - » 女性トラックドライバーは2%程度



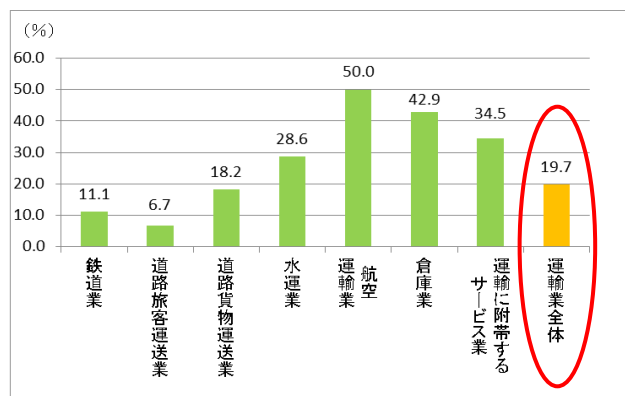
出典) 厚生労働省「労働経済動向調査」より日通総合研究所作成

図 正社員等労働者の過不足状況(DI値)



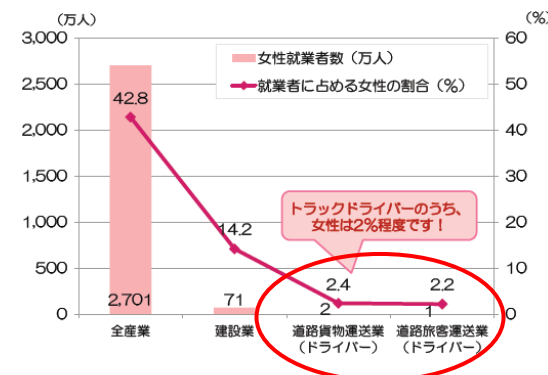
出典) 国土交通省・厚生労働省、「トラックドライバーの人材確保・育成に向けて」

図 就業者数と年齢構成の推移



出典) 総務省「労働力調査」より日通総合研究所作成

図 運輸業就業者の業種別女性割合(2016.10)



出典) 国土交通省・全日本トラック協会

図 トラックドライバーの女性割合



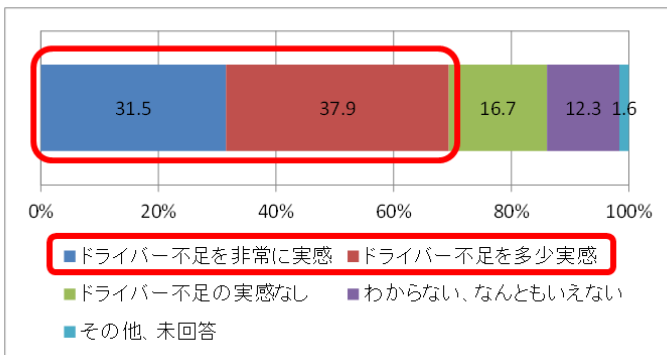
# 物流業界における労働力の現状

人手不足と高齢化でモノを運べない現実が目前に迫っている

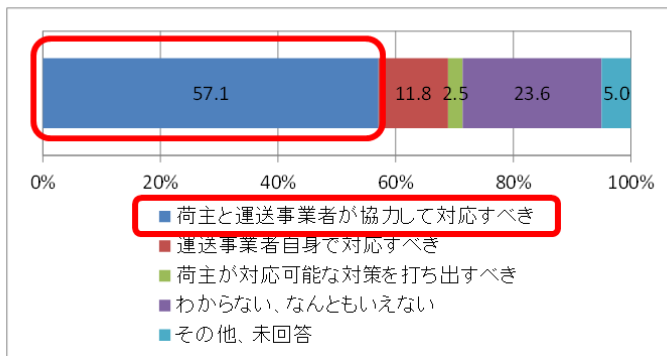
ドライバー不足を実感する荷主が約7割

「荷主とトラック運送事業者が協力して対策すべき」と認識する荷主が約6割

■ドライバー不足の実感



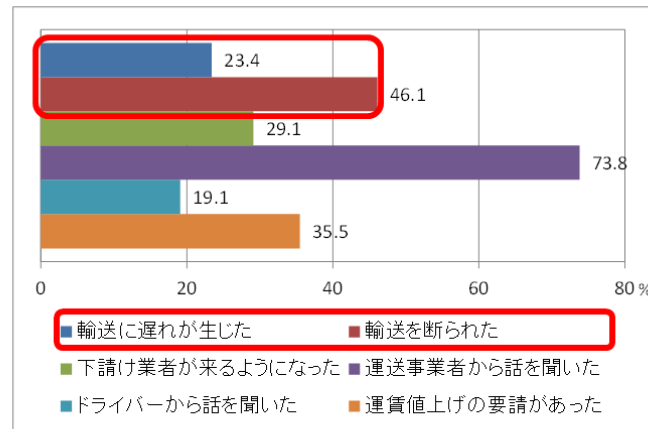
■ドライバー不足問題への意向



ドライバー不足により「輸送を断られた」荷主が約5割

ドライバー不足により「輸送が遅れた」荷主は約2割強

■ドライバー不足実感の理由



出典) 中部運輸局  
「物流現場における課題と改善点の見える化事業」調査結果、2016.2



# 物流業界における労働力の現状

今、女性の力が注目されている

## 女性の潜在労働力

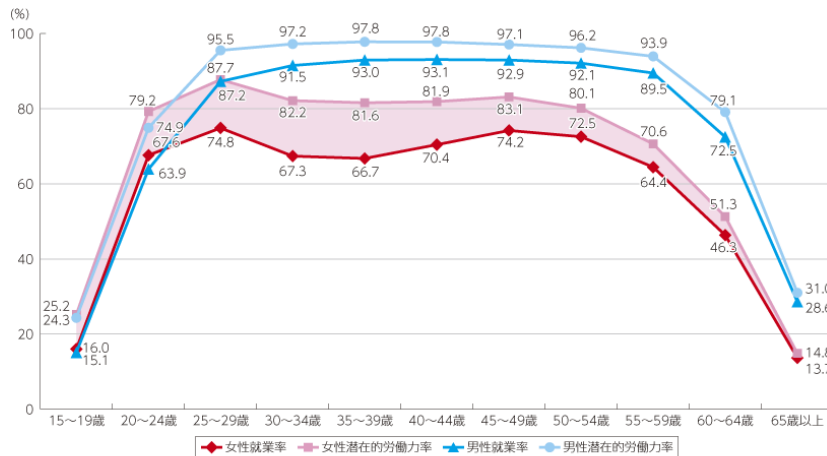
- 女性の就業率は64.6%(2015年)、年々上昇傾向※
- 結婚や出産に伴う離職 6割 ⇒ M字カーブ
- 女性無業者のうち就業希望があるが求職活動をしていない人 345万人※
- 育児期の職業中断が高学歴層にも拡大

人的資源の無駄遣い

※ 出典)総務省統計局

## ダイバーシティ経営

- 多様な人財の能力を活かしたイノベーションの創出、生産性向上など



"Japanese firms are careful to recycle paper but careless about wasting female talent."  
(日本企業は紙を慎重にリサイクルするが、女性の能力を無駄遣いすることには無頓着である)



雇用における男女性差を無くすことができれば、日本のGDPは15%増加する可能性がある。(米国ゴールドマンサックス)

出典) 英紙エコノミスト(2011.11.5)

出典) Goldman Sachs, Japan: Portfolio Strategy Womenomics 3.0: The Time Is Now, 2010.10.1

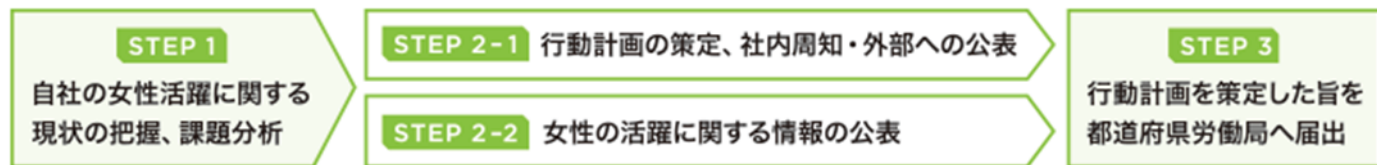
出典) 総務省「H26年度情報通信白書」

図 M字カーブと潜在労働力

## 《参考：女性活躍推進法》

### ■ 「女性活躍推進法」の概要

- 》 2016年4月施行
- 》 **対象：労働者301人以上の大企業（300人以下の中小企業は努力義務）**
- 》 **義務：**



出典)厚生労働省、中小企業のための女性活躍推進事業ホームページ

- 》 **基礎項目：** ①女性採用比率、②勤続年数の男女差、③労働時間の状況、④女性管理職比率 の4項目
- 》 現状の数値や実績が認定基準を満たせば、厚生労働省より認定を受けることができる。
- 》 認定マーク「えるぼし」は商品や広告、名刺、求人票などに使用することが可能。

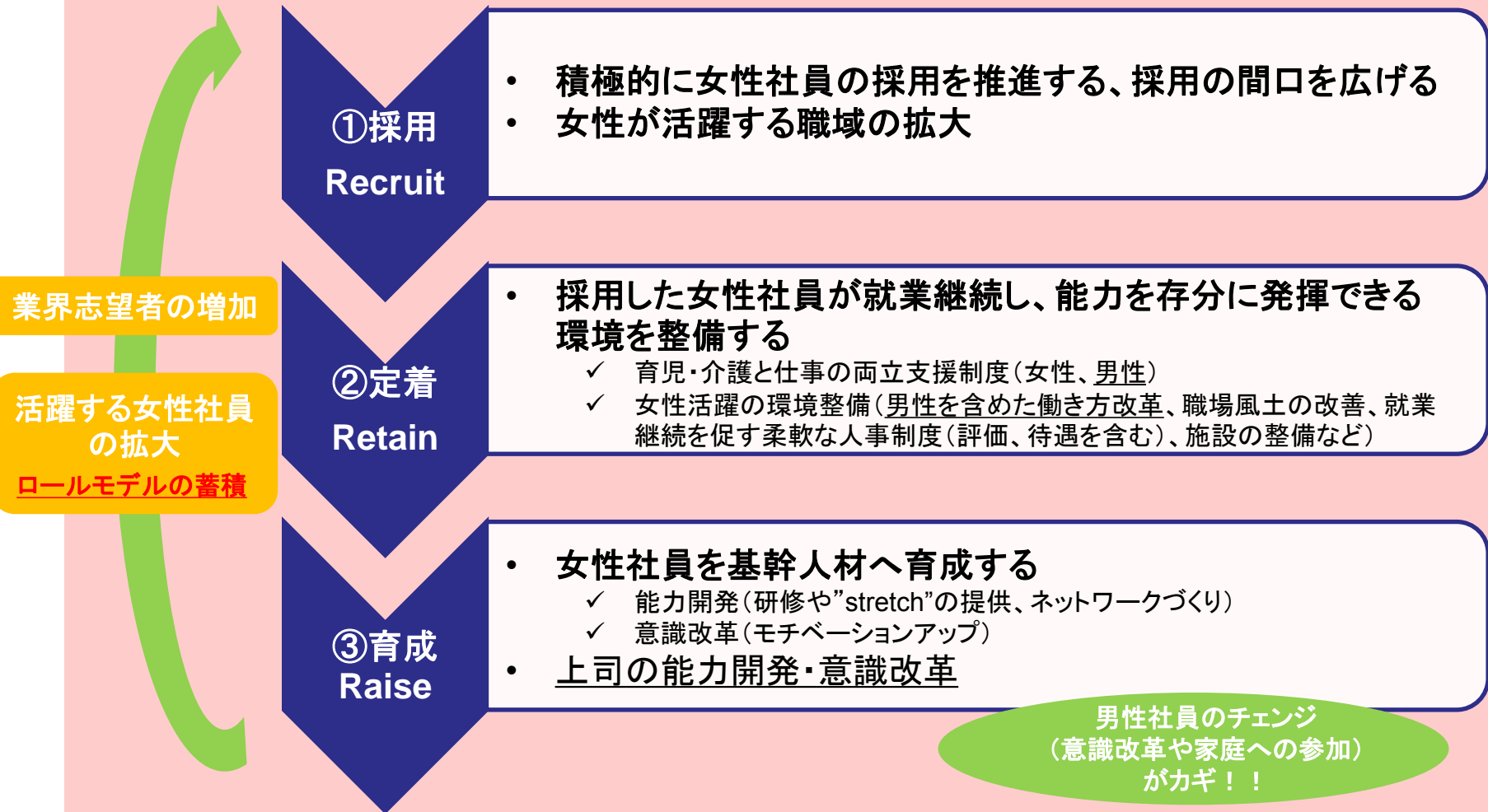


図 女性の活躍認定マーク「えるぼし」

「L」には、Lady(女性)、Labour(働く、取り組む)、Lead(手本)など様々な意味があり、「円」は企業や社会、「L」はエレガントに力強く活躍する女性がイメージされている。(厚生労働省)

## 《参考：女性の活躍推進のための3R》

### ■ 一般的な取組事項＝「3R: Recruit, Retain and Raise」※







※みずほフィナンシャルグループではRelate(社内外との積極的な対話の推進、組織全体の意識改革推進)を入れて「4R」としている。(女性の活躍推進協議会より)



# 物流業界は女性にとって働きにくい？

## 《現場職のイメージ》

 <p>3K きつい？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長時間で不規則な労働？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>両立支援制度や短時間勤務制度の導入 (ワークライフバランス支援)</li> <li>中継輸送の導入</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>荷役作業はある？ 重労働？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スワップボディの導入 ※海上コンテナ輸送、通運、ダンプカー等は荷役を伴わない</li> <li>パワーアシストスーツ等の導入</li> <li>自動倉庫の導入</li> <li>カートの小型化</li> </ul>
 <p>汚い？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設は汚い？ トイレは男女共同？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性専用トイレやシャワールームの設置 ※デザイン性の高い物流施設も続々誕生</li> </ul>
 <p>危険？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故が多い？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全教育の徹底</li> <li>安全装置の取り付け</li> </ul> <p>} 事故率の低下</p>
 <p>男性社会？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性はいるの？ 女性も活躍できる？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>???</li> </ul>



## 物流業界の働き方改革《現場職の例》

不規則な就業形態、長時間労働や荷役作業を伴う物流業界では「働き方改革」によるワークライフバランスの向上が重要

### 短時間勤務

とりわけ主婦等、短時間の就労を希望する人の就労を進めるにあたり有効。  
(域内集配、時間帯が限られる学校給食の配送などで女性が活躍)

⇒ **ヒトに合わせた働き方**

### 中継輸送※

中継地点にて別の運転手とトラックの交換を行い、預かった荷物を相手の配送先へ届ける。運転者は**外泊することなく毎日自宅で静養**ことができるようになり、就業環境が改善される。

※ 国土交通省 物流生産性革命の実現に向けた施策のひとつ



資料) 国土交通省、「平成28年度版交通政策白書について」(2016.5)

図 中継輸送のイメージ

### スワップボディ



資料) 佐川急便

写真 スワップボディ

### パワーアシストスーツ



資料) サイバーダイン

写真 ロボットスーツ「HAL」

### 自動倉庫



資料) ニトリ

写真 オートストア

### カートンの小型化

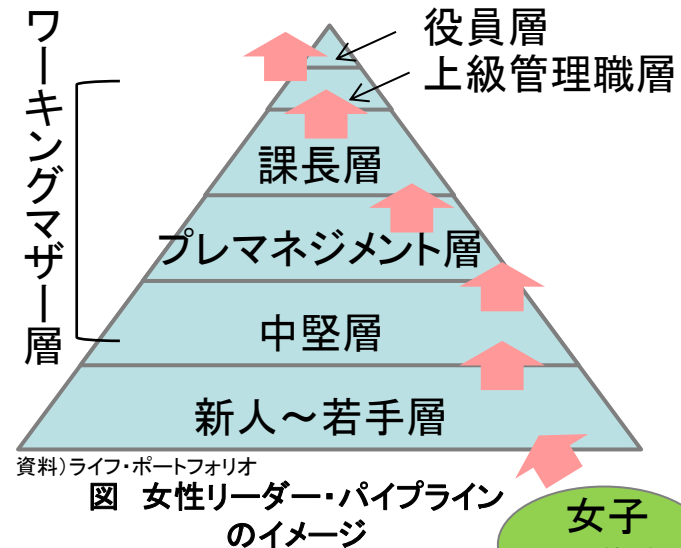


図 カートンの小型化



## 女性活躍を推進する6つの要素

- ① 女性本人の意識改革・スキル向上
- ② 上司の意識改革・スキル向上
- ③ 会社方針／トップのコミットメント
- ④ 人事制度(両立支援制度、評価・処遇制度等)
- ⑤ 職場環境(働き方の見直し、生産性向上、WLBの推進、社風等)
- ⑥ 男性の両立支援(家庭における男性の協力推進)



## + 物流業界のイメージ向上を図り、誰もが憧れる業界に！



学生にとっては…  
**物流業界＝トラックドライバー**

長時間運転や荷役がきつそう、荷役で汚れそう、交通事故などで危険そう…(3K)

- ✓ 環境・地域住民・**働く人に配慮した物流施設**、制服、車両等の刷新など
- ✓ 広報活動により、**物流の「いいところ」を知ってもらう！**
- ✓ **ロールモデルの作成**(職種ごとの様々なキャリアパスの提示)

## 広報活動の例

- ✓ 国土交通省 トラガール促進プロジェクト
- ✓ 各種セミナー・フェスタでの広報活動
  - 例)さいたまトラック協会、「SAITAMA WOMENフェスタ2016」にブース出展(2016.9.10~11)
  - 例)中部運輸局「発見！女性運転手の魅力」セミナー開催(2016.10.1)



- ✓ 各社・団体による大学等での寄付講座
- ✓ 日本物流団体連合会の取り組み
  - 学生向け物流業界インターンシップ(参加者の6割が女性)
  - 物流業界研究セミナー
  - PRグループ～物流いいところみつけ隊～
  - **会報「Grow」内女性社員インタビュー**  
**(会員企業をたずねる～女性の力、女性の声～)**
  - 修学旅行の企業訪問(自由研究テーマ)の受入れ 等



資料)国土交通省



資料)日本物流連合会

## 働く人に配慮した物流施設(例:GLP流山)



出所)グローバル・ロジスティック・プロパティーズ株式会社 施設名:GLP流山(2018年竣工予定)

## おわりに

### ■ 女子学生が就業先を選ぶポイント

- » 「**長く働けるか**」  
…両立支援制度やロールモデルの有無、女性が説明会等に出てきているか
- » 「**働きやすいか**」…社風、人間関係、**男女平等に活躍できるか**
- » ライフイベント後の定着や活躍ができない企業は**今後選ばれない社会に。**
- » そうならないためにも…

- 既存の女性社員(制約社員を含む)を管理職候補として育成
- 多くの女性に活躍してもらい、**多様なロールモデル**を用意
- 学生や求職者、世間に対してアピール



- 子育てをしながら時間短縮勤務で管理職
- 介護や育児のため、週2日の在宅勤務を取り入れながら活躍
- パート社員で入社後、正社員管理職で活躍  
…など

「男性社会」と思われがちな物流企業のイメージを、「女性にとっても働きやすい」「女性が活躍できる業界である」というイメージへ変えていく!



災害時の  
緊急支援物  
資輸送

やりがい

産業の血  
液

先端技術

# 物流はカッコいい!

輸送機器  
荷役機器

感謝され  
る仕事

スキル  
アップ

**X**  
3K

3A(安全・  
安心・安定)

人々の  
生活を  
支える

チーム  
ワーク

国際的  
世界に繋がる







1969年創業  
物流情報の専門紙

**カーゴニュース**

# 物流の魅力を女性目線から考える。

株式会社カーゴ・ジャパン 石井麻里

## はじめに ☆なぜ女性の活躍が望まれるか

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は全産業・全業種を問わず大きな課題となっている。

特に物流業界は“宅配危機”に象徴されるように、深刻さを増している。

○17年3月の有効求人倍率

**全業種・・・1.45倍 自動車運転・・・2.63倍**

解決策として、“就業率”と“求職率”のギャップが相対的に大きい女性の潜在的労働力に注目が集まっている。



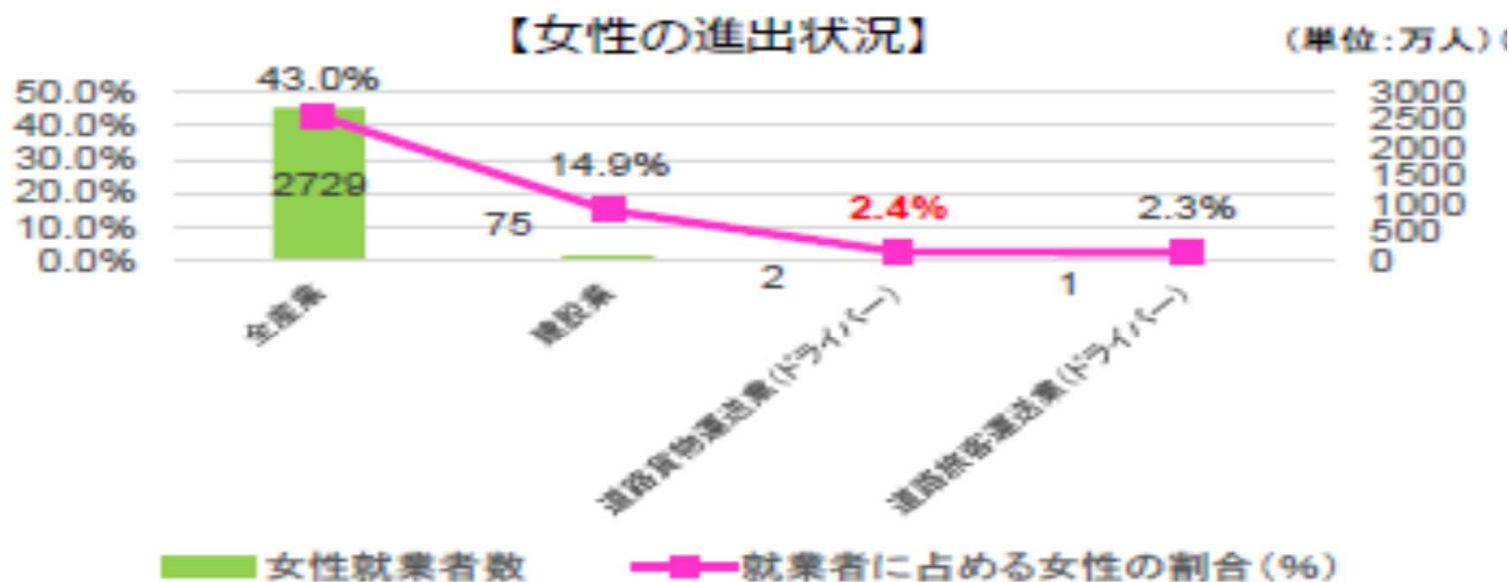
1969年創業  
物流情報の専門紙

**カーゴニュース**

# 物流業界と女性 ☆現状①

## 低い女性の進出状況

○全産業で43.7% トラック2.4%



総務省「労働力調査」(平成26年)から作成

# 物流業界と女性 ☆現状②

遅れている管理職登用

○女性管理職の割合

「運輸・倉庫」は4.2%でワースト

最高は小売業の13.5%、全業種平均は6.6%

出典：帝国データバンク

「女性登用に対する企業の意識調査」2016年8月



1969年創業  
物流情報の専門紙

カーゴニュース

# 物流業界と女性 ☆現状③

3 K・5 Kのイメージが定着

某大学物流関連ゼミの学生（男女問わず）を対象にしたアンケート調査によると、

- 学生の6割が「絶対にドライバーになりたくない」
- 現役ドライバーの7割が「身内にドライバーになることを勧めない」



この現状をどう打開するか？





# 物流業界団体の取り組み ☆ 最近の紙面から

- 神奈川倉庫協会が女性活躍推進に向けWGを設置、行動計画と提言の策定へ
- 日本物流団体連合会が「物流業界テレワーク検討小委員会」発足へ
- 日本通関業連合会で7月に女性通関士が「日中韓女性経済会議」に参加
- 全日本トラック協会は29日の総会で「女性部会」発足へ



1969年創業  
物流情報の専門紙

**カーゴニュース**



# 経営層も女性に注目 ☆最近の動き

- 女性活躍推進法（16年4月施行）への対応
- 女性が活躍すると企業業績がアップする？  
女性社員の多さと業績の因果関係は？
- 女性活躍推進企業へのインセンティブ
- 女性活躍の企業「生産性が向上」 日銀調査

2017年6月3日日本経済新聞より



1969年創業  
物流情報の専門紙

**カーゴニュース**

# 女性の「戦力」化が必要 ☆取材ノートから①

- ソフト・ハードの取り組みは徐々に進展  
(女性専用設備、育児介護休業制度等の環境整備)
- 単に労働力不足を補うという発想からの脱却
- 女性の「戦力化」に関するビジョンの共有
  - 女性ならではの能力に対する経営層・管理職の評価・人材戦略が不明瞭
- 女性が活躍する会社には、「トップの右腕となる女性」がいる
  - ロールモデル、成功体験が必要



1969年創業  
物流情報の専門紙

カーゴニュース

# 女性活躍の課題は？ ☆取材ノートから②

## 長時間労働の是正の必要性

- 勤務時間が「長い」「やや長い」を併せて70%  
残業は「多い」「やや多い」を併せて53%
- 長時間労働が家庭との両立のネックに

出典：2015年度

「女性通関の労働環境・キャリア意識等に関するアンケート調査」



1969年創業  
物流情報の専門紙

カーゴニュース

# 女性にやさしい会社とは ☆取材ノートから③

食品関連物流会社の取り組み

女性のライフステージにおける 3 大イベントは

恋愛→彼氏ができる  
結婚  
出産・子育て



ライフステージが異なっても共通する希望は  
“残業が少なく、同じ時間に退社できること”

# 女性にやさしい会社とは？

☆取材ノートから④

## 定時退社のための取り組み

- ・ 業務の棚卸
- ・ 標準化
- ・ 分業化
- ・ 情報の共有化
- ・ 多能工化



## ただし、荷主の協力も必要

- ・「必要な情報を漏れなくください」
- ・「オーダーの締め切りを守ってください」



1969年創業  
物流情報の専門紙

カーゴニュース

# 物流業界の「働き方改革」の課題

---

## ○厳しい現状

労働関係法令違反が約 8 割  
改善基準告示違反も 5 割超

東京都労働局

「都内道路貨物運送業に対する臨検監督」の結果



## ○「労働時間短縮」だけでなく「中身」の議論も必要！

→働きがいのある、充実した職場づくり

→ワークライフバランスを補うワークエンゲージメント



# 課題解決に向けて

---

課題は山積だが・・・

“宅配危機” “物流危機”に関する連日の報道で、経済界・消費者の物流の仕事に対する重要性が認識されている。

物流業界で働く人が自分たちの仕事の魅力を  
“再発見”し、“発信”していくことが、より多くの人を呼び  
込むカギになる！！



1969年創業  
物流情報の専門紙

**カーゴニュース**

## 物流業界の魅力とは ☆まとめにかえて

物流の「ここが好き」

- レバレッジの効かない「等身大」の世界
- 「要領がいい人」よりも「真面目でコツコツやる人」が評価される業界気質
- 働いている人の「親切」と「正直」（横浜の物流会社の社長が社員に求める2つの要素）
- 「災害発生時には身を挺して被災地に救援物資の輸送にあたる」カッコいい仕事



1969年創業  
物流情報の専門紙

**カーゴニュース**

# 終わりに ☆誇りをもって物流の魅力を発信しましょう



写真左上：救援物資の積み込み  
左下：安全に対する責任感  
右上：「匠」の荷役技術